

いきいき元気アップ教室

健康体操で元気な体を

11月10日から1月12日までの期間、5回にわたり市包括支援センター主催の「いきいき元気アップ教室」が西木公民館で開催されました。

この教室は、おおむね65歳以上の方々を対象に、介護状態の予防を目的に、いつまでも元気で生活できるように効果的な運動を指導するものです。

講師には、健康運動指導士の黒田恵美子先生を迎え、腰痛予



手軽にできる運動で、参加者は和気あいあいと健康づくりに励んでいました。

防や肩こり解消の体操、ジワジワ血流をアップする全身運動など、参加者は和やかな雰囲気の中で、運動に取り組んでいました。

雪下ろし技能講習会で安全学ぶ

雪下ろし作業は慎重に

安全な雪下ろしの普及を図るため、県・仙北市合同主催の「雪下ろし技能講習会」が12月14日、神代就業改善センターで開かれ、市民や事業所から50人が参加しました。仙北警察署や大曲仙北建設技能組合連合会による講話に引き続き、大曲広域消防本部角館消防署の救助隊が、簡単に解けにくい命綱の結び方などを詳しく説明しました。

昨年県内では、雪害事故が94



大曲広域消防本部角館消防署の救助隊員による簡単で解けにくい命綱の講習はとてもためになり、参加者は真剣な面持ちで聞いていました。

件発生しています。このうち55件は屋根の雪下ろしなどによる高所からの転落となっているため、くれぐれも雪下ろしの際は、慎重な作業を心掛けてください。

税への関心を持ち、正しい理解を深めよう 税についての作文・税に関する習字で入選

◆税についての作文

国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が共催で募集していた「税についての作文」で、鈴木彩乃さん（角館中3年）の作品「税について考



左から角館中学校の佐藤心一校長、仙北市納税貯蓄組合連合会の高橋達会長、鈴木彩乃さん、大曲税務署の笠秀則署長。

える大切さ」が大曲税務署長賞を受賞し、12月14日、大曲税務署の笠秀則署長が角館中学校を訪れ、表彰状を伝達しました。また、仙

北市納税貯蓄組合連合会長賞を受賞した沼田愛佳さん（西明寺中3年）に、仙北市納税貯蓄組合連合会の高橋達会長が西明寺中学校を訪れ、表彰状を伝達しました。

◆税に関する習字

小学生を対象に、仙北市納税貯蓄組合連合会で募集していた「税に関する習字」で、西宮理央さん（角館小2年）の作品が最優秀賞に選ばれ、12月15日、仙北市納税貯蓄組合連合会の高橋達会長が角館小学校を訪れ、表彰状を伝達しました。



左から仙北市納税貯蓄組合連合会の高橋達会長、沼田愛佳さん、西明寺中学校の高橋智弘校長。



左から角館小学校の田口桂一郎校長、西宮理央さん、仙北市納税貯蓄組合連合会の高橋達会長。

田沢湖駅前にイルミネーション

幻想的な光で魅了

12月23日から25日の3日間、田沢湖駅前広場を活用し、駅前の活性化を目指す「こまちの会」が、冬のイベントとして、駅前にイルミネーションと手作りろうそくを灯しました。

こまちの会は、これまで花植えや夏まつりを実施するなど、駅前の活性化に向け精力的にイベントを仕掛けてきました。

期間中は、クリスマスとも重なり、幻想的な雰囲気の中、道



幻想的なイルミネーションは3月まで点灯しています。田沢湖駅近くまでいらした際は、ぜひ立ち寄りください。

行く人や田沢湖駅の利用客などが、手作りろうそくやイルミネーションの光に見とれていました。

元旦におもてなし歓迎イベント



心温まるおもてなしに笑顔

1月1日、市内のJR各駅で、元旦の新幹線利用者に対する歓迎イベントが行われました。

JR田沢湖駅では、龍神太鼓が利用客を賑やかに出迎え、駅構内ではお酒や山の芋鍋などが振る舞われました。JR角館駅では、ゆるキャラ「お梅ちゃん、福松くん」が出迎え、駅前蔵では観光案内のほか、お酒や漬物、内陸線のタイアップ企画でバター餅が振る舞われ、温かい



JR角館駅では、出迎えたお梅ちゃん、福松くんと一緒に利用客が記念撮影する姿が見られました。

おもてなしを受けた帰省客や観光客と一緒に写真を撮ったり、お酒を味わったりしていました。

白寿のお祝い

おめでとうございます



白寿を迎えられた佐藤キクエさんに、1月6日、仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。



白寿を迎えられた佐藤キクエさん(右から2番目)。これからも元気で過ごしてください。

オタスケマンが子どもたちを全力でサポート 角館キッズ学び教室

1月4日から6日までの3日間にわたり「角館キッズ学び教室」が角館交流センターで行われました。



フレッシュオタスケマンとして参加した大曲高校2年の関里音さん(左から2番目)は「教える方が難しいと思ったけど、理解してもらえた。機会があれば次回も参加したい」と話しました。

この教室は、楽しい学習オタスケマンの会(菅原正五郎会長)が、子どもたちの自学自習を支援しようとして、夏冬の長期休みに開催しているもので、3日間で市内外の小・中学生が108人参加しました。現職や退職した先生、市民たちが「オタスケマン」に、地元の高校生が「フレッシュオタスケマン」となって、子どもたちの勉強をお手伝いしました。参加した子どもたちは「問題の解き方がわかりやすい」「他校の友達と勉強できて楽しい」と話していました。



「学び教室」は毎回参加する子どもたちに大人気です。